

かみくげ 恐竜の里新聞

平成22年7月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第24号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

化石発掘4周年記念

イベント間近にせまる

8月7日(土) 上久下自治協議会と里づくり協議会は丹波竜化石発見4周年記念イベントを元氣村かみくげ駐車場広場で開きます。メインイベントには人と自然の博物館の協力で国内最大300人規模の「恐竜化石発掘大会」を行います。地域内各部落・自治会から150人、地域外から先着150人を見込んでいます。

◆第一部 化石発掘大会

10時30分～11時20分
化石審査 11時20分
結果発表 12時00分

◆第二部 バザーと音楽おどり

(ハワイアンダンス)

11時30分～14時30分

発掘大会終了後のテントにて各自治会によるバザー、食べ物・飲み物など豊富にそろえています。当日は駐車場が大変混雑することが予想されますので、できるだけ近所お誘いの上、お車乗り合わせでこ来場ください。

山南中男子ペアが

ソフトテニス県大会へ



下滝・市営住宅の田山隆建君・田野真也君(山南中3年)の男子ペアは、ソフトテニスで5試合を勝ち進み県大会に出場することになりました。

三田市の強豪ペアらを連破しての快挙に、次は県大会、近畿大会としっかりした目標を持って毎夜下滝遊園地グラウンドで練習をしています。上久下の皆さんで応援しましょう！

私の上久下生活

ーター・ンター・編 ①

坂野正幸さん

公子さんご夫妻

(篠場)

坂野(ばんの)正幸さん(59)と公子さん(58)ご夫妻は2年前の8月に篠場に越してこられました。

正幸さんは現在大手企業の営業マンで、これまでに10回以上も転勤を繰り返されたそうです。現在は大阪市内にお住まいがありますが、正幸さんの定年を間近に控え、趣味である焼き物に没頭できる場所をあちこち探し、青垣や市島の民家など多くの中から今のお宅に決められたそうです。

現在のところはお二人で金曜の夜に訪れ、週末をゆっくりと上久下で過ごしておられます。来年3月になれば定住するつもりで今はその準備期間とのこと、これまで作業場のウッドデッキや陶芸小屋を作ったり、ピザ窯を作ったり、中古の陶芸窯を手に入れたり、準備は着々と進んでいます。

正幸さんは、こちらに来ていろいろなものを手に入れましたが、村の人たちと仲良くなれたことが一番大きかった、多くの方々のご親切がとても嬉しかったと話しておられました。

またお二人は野菜作りや山菜料理に



も挑戦されています。公子さんは、散歩の途中で見付ける山菜は、これまで知らなかったのでも新鮮です。野山の中から宝石を見つけたような喜びがありますよ、と楽しそうに話しておられました。

(レポーター：村上俊明)

元気村かみくげの 舗装工事が終わる



丹波市が進めていた元気村かみくげ駐車場の舗装工事が7月23日に完了しました。

外周には安全柵が設置され大型バス3台に普通乗用車約50台が同時に駐車でき、駐車場機能がより充実しました。また、追加活動施設として現在の建物の続きに展示ルームを増設したり、全天候型の発掘体験スペースも12月を目標に完成の予定です。

猛暑にも負けず 上久下は元気です

① 老社会役員が庭木の剪定

上久下老社会役員は7月17日(土)地域づくりセンター周辺の庭木の剪定など清掃活動を行いました。自治協議会から自治会長や公民館長らも参加して総勢50名ほどでセンターや同窓会里山・元気村周辺の草刈作業をしました。参加されたみなさん大変お疲れ様でした。

② 地区球技大会を開催

上久下体育振興会は7月18日(日)上久下小学校グラウンドと体育館においてソフトボールとソフトバレーボールなど球技大会を開きました。炎天下のグラウンドでは各地区代表チームが熱戦を繰り広げ、体育館では40歳以上のメンバーで構成される各チームが暑さを吹っ飛ばす好ゲームを展開し、中でも最高齢78歳の男性(青田チーム)も日頃の練習の成果を見せていました。ソフトボールでの優勝は下滝チームで、8月29日の町大会に出場します。

③ 丹波竜化石発掘体験ツアー

元気村かみくげでは7月18日(日)人と自然の博物館のオープンセミナーが開かれ、阪神間から参加の大人から子どもまで50人が丹波竜の里での見学や体験をしました。一行は2班に分かれて発掘現場を見学したり、恐竜化石発掘体験をしたりして博物館研究員や地元発掘体験指導員らと熱心に体験学習をし

ていました。夏休みを前にして、その他にも三田市の小学校2校(計80人)や大阪の高校生120人からも発掘体験に訪れ元気村かみくげも大いに熱くなっていました。



④ 川裾まつり花火大会(阿草部落)

7月24日(土)、阿草公民館周辺では川裾まつりと健康まつりが開かれ、部落住民ら200人が参加してバザー出店の焼きそば、おでん、鳥の唐揚げ、ビールやお酒で涼をとっていました。恒例となった「大花火大会」には100発の花火が打ち上げられる度に歓声が上がっていました。近頃の自治会から見学に来た男性は「これだけの花火大会を阿草だけの行事にしておくのでなく、上久下地域のみなさんが楽しんでもらえる地域の行事の一つとして今後継続してもらえばいいですね」と感想を述べていました。来年からは上久下地域自治協議会がこの花火大会を後援し、地域の伝統行事の一つとして支援することが望まれます。

⑤ 丹波市音頭講習会(下滝自治会)

下滝自治会老社会は7月22日公民館にて丹波市音頭の講習会を開きました。老社会会員ら15人が山南郷土民踊保存会会長の指導のもとで、汗だくになりながら軽快なテープの音に合わせて輪をつくって踊っていました。早速8月の夏祭りに披露できると男性参加者の一人は張り切っていました。